

第19回日本薬局学会学術総会 ランチョンセミナー 8 (LS8)

2025年11月2日(日) 11:50 ~ 12:50

札幌コンベンションセンター 第3会場 (1階 中ホールB)

抗がん剤関連眼障害に迫る： 特に注意“涙”のサイン



座長・演者 柏木 広哉 先生 静岡県立静岡がんセンター 眼科部長

現在、本邦では2名に1名が、がん罹患している。また抗がん剤の進歩は目覚ましく、新規薬剤の開発や適応疾患の拡大が進んでいる。眼への副作用は、涙道障害、角膜障害、網膜障害、視神経障害などと多岐にわたり、かつ増加傾向にある。しかしながら、吐き気や脱毛といった副作用に比べると未だ認知度が低い。また副作用の一つの「流涙症」については、高齢の患者さんの場合、老化現象と考えられる傾向がある。眼の障害は、見え方の質 (Quality of vision: QOV) の低下をきたし、ストレス (不安感) の上昇や生活の質の低下につながってくる恐れがある。

今回の共催セミナーでは、柏木より「抗がん剤からくる眼の症状について」、またその中でも特に注視していきたい「涙道障害について」をさっぽろ眼科・眼形成クリニックの石嶋先生にご講演いただく。更に、今回の内容について少しでも多くの薬剤師の方々に認知していただきたく、北海道医療センターの高田先生にもご講演をお願いさせていただいた。先生からは、「薬剤師視点での抗がん剤による副作用案内や対応について」ご講演いただく。抗がん剤による眼の副作用への対策は長い道のりとなるが、一歩ずつ、チーム一丸となって実践していくことが大切と、末筆ながら申し上げる。

講演 1

知っておきたい！
眼に障害を起こす
代表的抗がん剤

柏木 広哉 先生
静岡県立静岡がんセンター
眼科部長

講演 2

抗がん剤関連
流涙症の検討

石嶋 漢 先生
さっぽろ眼科・
眼形成クリニック 院長

講演 3

薬剤師が実践する
眼障害マネジメント

高田 慎也 先生
北海道医療センター 薬剤部
医薬品情報管理室 主任

柏木 広哉 先生

1989年3月 北里大学医学部 卒業
1989年4月 北里大学医学部眼科 入局
1995年 北里大学外科学系大学院 修了
北里大学眼科 研究員
北里大学眼科 病棟チーフ
2002年 静岡県立静岡がんセンター 初代眼科部長
2013年 日本神経眼科学会 評議員 編集委員
2014年 (財) 静岡県アイバンク 評議員
2018年 第28回日本眼瞼義眼床手術学会 学会長
2020年 日本眼科医会 倫理委員会委員

石嶋 漢 先生

2006年 福井大学医学部 卒業
2007年 北海道大学病院眼科 入局
帯広協会病院、時計台記念病院眼科を経て
2015年 北海道大学病院眼科眼形成外来 責任医師
2019年 医大前中川眼科 副院長
2020年 さっぽろ眼科・眼形成クリニック 院長

高田 慎也 先生

2004年4月 北海道がんセンター薬剤科 入職
2012年5月 北海道がんセンター 治験管理室
2013年4月 外来化学療法センター 兼任
2017年4月 北海道がんセンター 試験検査室主任
2018年4月 北海道がんセンター 治験主任
2020年4月 北海道がんセンター 医薬品情報管理室 主任
2025年4月 北海道医療センター 医薬品情報管理室 主任



MEMO
